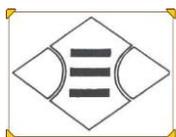


さぶろうまる だより



学校だより No. 9
 平成26年11月5日
 北九州市立三郎丸小学校
 校長 花田 博之
 TEL 921-1440

○ 学校教育目標 『自ら学び、心豊かで たくましい子どもの育成』
 [きまりを守り、思いやりのある子] [すすんで学び、よく考える子] [元気でたくましい子]

平成26年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成26年4月22日（火）に6年生を対象として「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施しました。この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせします。学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科・領域を含め、総合的に学力向上を目指しています。また、今回の結果は、どの学年にも当てはまるところが多いです。

1 教科に関する調査結果の概要

① 学力調査結果と分析

カテゴリー	全国平均との比較	学力調査の分析（傾向や特徴）
国語 A	全国平均正答率を下回っている。	<ul style="list-style-type: none"> 全体的には全国平均正答率をやや下回っていたが、言語知識理解は基礎ができていた。 書く力を問う問題に課題があり、書くことを習慣化する必要がある。
国語 B	全国平均正答率を下回っている。	<ul style="list-style-type: none"> 全国平均正答率を下回っている項目が多く、課題である。 文章の内容について、根拠を明確にして、自分の考えを書く問題に課題がある。
算数 A	全国平均正答率を下回っている。	<ul style="list-style-type: none"> 全国平均を下回っており、立体図形の問題が特に無解答、誤答も多かったため、空間認識が苦手なことがわかった。 計算についての力が不足しており、基礎的な計算力を付ける必要がある。
算数 B	全国平均正答率を下回っている。	<ul style="list-style-type: none"> 全国平均正答率を下回っている。応用問題に対して無解答率が高く、苦手意識をもっている子どもが多い。 数量関係や図形について課題がある。

② 学校における学習状況に関する調査結果と分析

- 「話す・聞く」については、特別活動の研究の成果が出ており、全国と比較しても上回っている。今後も学級会等での発表の機会を増やす学習を行っていく。
- 国語の勉強が好きではないとする子どもの割合が多く課題がある。
- 文章を読むとき、段落のまとめりごとに内容を理解しながら読み取ることに課題がある子どもが多い。文章のまとめりを重視した学習を行っていく必要がある。

2 家庭生活習慣等に関する調査結果の概要

① 家庭学習習慣に関する調査結果と分析

- 1時間以上家庭学習をしている子どもの割合は、変化が見られず課題が見られる。また、家庭学習の絶対量が少なく、全校で時間の目安を示したり、家庭学習の具体的な取り組み方を指導したりする必要はある。
- 自分で計画して学校の復習などの勉強をしている子どもの割合も全国と比較しても15ポイント以上の差があり課題である。

② 生活習慣等に関する調査結果と分析

- テレビ・ゲームの接触時間が、4時間以上の長時間の利用の割合が増えている。
- 携帯やメールをするなどの時間が3時間以上の割合が全国平均に比べて割合が高い。家庭での時間の使い方についての啓発が求められる。
- 将来の夢をもっている子どもの割合が全国と比べて低い数値である。それぞれの夢を実現させるために具体的な目標設定を行い、行動に結びつけることが必要である。

3 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

◎ 学力向上のための特設時間の実施

- 朝自習（週2回程度、「三小タイム」で全校一斉に実施（漢字：水 計算：木）
- 特設時間の取組内容計画表作成（学力向上推進委員会・各学年）

◎ 過去問題、アシストシート、活用力を高めるワークの活用

- アシストシートやWEB問題を導入で使い、基礎基本の徹底を図る。

○ アシストシートと過去問題を冊子にして、冬休み・春休みの「宿題帳」とする。

○ 「書く」ことを習慣化

- 学習の最後、3分間を「振り返りタイム」として、分かったこと思ったことなど、振り返りを書くようにする。
- 連絡帳に3行程度の「ミニ日記」を書く。

② 家庭生活習慣等に関する取組

◎ 宿題のスタンダード化（時間、学年別・教科別内容）

- 自主学習ノートの活用をすすめる。

- 家庭学習時間の設定をすすめる。

- 「家庭学習の約束」の作成・実施をする。

- 「家庭学習チャレンジハンドブック」の活用をする。

◎ 全国学力・学習状況調査の課題と取組等を保護者へ周知

- 家庭教育学級（規範教育）や学級懇談会等で、結果と取組を説明し、家庭と連携し協力体制を整える。

○ 家庭学習マイスター賞への応募等をすすめる。

○ 冬休み・春休みの宿題に、過去問題やアシストシート、WEB問題を活用する。

※具体的な取組については、今後の学校だよりでお知らせします。

